

## 『楽しい学校生活を送るために』

校長 萩野 幹夫

学校生活が始まって二か月が過ぎようとしています。子供たちが楽しい学校の生活を送っているのか、校長としていつも気になっています。例年7月の終わりに、学校評価の一部として「子供の学習生活アンケート」を取り、子供の生活の様子を保護者にお知らせしていました。

今回は、時期を早め、さらに活用度が高い『楽しい学校生活を送るためのアンケート』を道徳の時間に実施しました。

これは、日本の多くの学校が行っている、子どもたちの学校生活における満足度と意欲、さらに学級集団の状態を調べることができる質問紙です。

「最近ちょっと元気がないかな」「よく頑張っているな」などと、教師は子どもたちの成長を日々見守っています。しかし、観察だけではどうしても気づかない部分があります。また、大人からすると意外な感情を子どもが抱いている場合もあります。そのような教師の観察と子どもの実態のズレを補うためのアンケートです。

1人1人のデータから、「友達にいやなことをされると感じているか」「先生や友達に認められていると感じているか」という2つの側面から、子どもたちの学級生活の満足度・充実度を図ります。

また、友達、学習、学級の3領域（中学生は、友人、学習、学級、進路、教師の5領域）について、子どもが積極的に取り組んでいるかどうかわかります。学校生活の意欲が低下している子どもなどを発見し、早期対応につなげます。

さて、一時話題になったアドラー心理学の創始者アルフレッド・アドラー博士は、人間がどんな状況にあっても幸せになれる条件は三つあり、第一は自分を好きと思える自己肯定感、第二が他人への信頼、第三がほんの少しだけでも人の役に立てている有用感だと言うのです。アドラーは、この三つの感性や能力を育てることが子供の大きな成長につながると述べています。彼の著書には、苦しくても頑張れる子供、人の気持ちが分かる子供、穏やかに対応できる子供などについて力強い言葉がまとめられています。彼の言葉は疲れた心にスッと染み込み、怒られた日、喧嘩した日、くじけた日、疲れた日…などに、パラパラとページをめくって読むと気持ちが落ち着くといわれています。

日本に行かれたとき、近くの図書館や本屋で目にとめてほしい一冊です。日々、担任とともに子供の居心地のよい、やる気のあるクラスづくりに励んでいきたいと思えます。

## &lt;主な学校行事予定&gt;

6/16日(木) 1分間スピーチ  
23日(木) 1分間スピーチ  
25日(土) PTAスポーツ大会  
28日(火) 全校集会  
7/4~5日 期末テスト(中学部のみ)  
7/5日(火) 1分間スピーチ(小学部のみ)

7/7日(火) 全校集会<季節集会>  
11日(月) PTA読み聞かせ  
19日(火) ワゾー満月のため休み  
21日(木) 1分間スピーチ  
26日(火)~28日(木) 個別懇談  
29日(金) 終業式  
30日(土) 夏季休業日始  
8/30まで

## 言語の時間について

教務主任 葛西敏之

ヤンゴン日本人学校の特色のある教育活動の一つが『言語』の授業です。「言語」の授業では、子どもたちの希望により、ミャンマー語初級・中級・上級と日本語クラスに分かれて年間22時間程度行っています。

この学習の目的は、ミャンマー語会話を学習することにより、現地に対する理解を深め、交流を図ろうとする態度を養い、国際人としての資質の向上を図ること。また、生活言語が日本語以外の児童生徒の中で、日本語による当該学年相当の国語力が不足している児童生徒に日本語の補充の時間とすることも目的としています。

今年度は、新たに、学年ごとの授業を行うこと、それにともない学年ごとの発達段階をふまえた指導計画を作成し、学習を進めています。ミャンマー語初級・中級クラスでは、数字や時間など日常すぐにでも使うことのできる言葉を中心に学習し、上級クラスでは、文字を読んだり書いたりする学習を行っています。日本語の初級クラスでは、ひらがなや言葉の基本や聞き取ったことを書く、上級クラスでは、説明文の読み取りなどを学習していきます。

この授業の経験が、言語を学習するというばかりでなく、子どもたちにとって『異文化を知る』一つのきっかけになってくれることを期待しています。

## 図書室からのお知らせ

図書主任 末田浩

P T A図書ボランティアの方々におかれましては、日頃より子どもたちの読書活動の充実のために、文庫整理や読み聞かせ活動等にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、本校では生徒・児童の生活読書向上のために、三本の柱を中心に取り組んでおります。

一つ目が、図書委員会を中心とした読書活動の推進。二つ目が、朝の読書の時間を中心とした生活読書の推進。三つ目が、授業における図書室の積極的な利用です。

ここヤンゴンで、日本の本を読むことはまだまだ難しい状況ですが、ヤンゴン日本人学校の図書室には日本の本が豊富に置いてある貴重な存在です。一人でも多くの子供たちに一冊でも多く読んでもらえるような取り組みを、これからも進めていきたいと思っております。

今後とも、本校、読書活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

### <今月の学校運営委員会報告>

5月23日 8:30~10:15

出席：本宮委員長、教育担当中村英司、大使館東書記官、梁井 PTA 会長、萩野校長、オブザーバー 木村日本人会副会長 渡邊教頭 塚本事務長

<議事・報告>

- ① 学校の様子
- ② 新校舎建設に向けて
- ③ H28 年度 5 月会計
- ④ 会計監査について
- ⑤ 教育実習生受け入れについて
- ⑥ 今後の児童生徒数増加について
- ⑦ その他